

2025 年 4 月 3 日

日立社員が執筆に参加した「認証と認可 Keycloak 入門 第 2 版」が出版

クラウドネイティブな Java フレームワーク Quarkus に準拠した Keycloak の基礎から構築方法まで解説



このたび、株式会社日立製作所(以下、日立)の Head of OSPO^{*1}の中村 雄一(なかむら ゆういち)とシニア OSS コンサルタントの田畑 義之(たばた よしゆき)が執筆に参加した「認証と認可 Keycloak 入門 第 2 版」が 4 月 8 日に、リックテレコムより出版されます。本書籍では、クラウドネイティブな Java フレームワーク Quarkus^{*2}に準拠した Keycloak の基礎から構築方法までを解説しています。日立は Keycloak の主要機能の開発に携わるほか、金融、公共、交通、産業などさまざまな分野への適用を推進しており、その知見を今回の執筆に集約しました。

なお Keycloak は、認証(Authentication)や認可(Authorization)を管理し、各種サービスのシングルサインオンやサービスをつなぐ API のセキュリティ確保を実現するものであり、2023 年に Cloud Native Computing Foundation (CNCF)のプロジェクトに追加されるなど、クラウドネイティブな認証・認可管理の OSS としてグローバルで代表的なソフトウェアです。

*1 Open Source Program Office

*2 Java アプリケーション開発の効率化のために設計されたフレームワークで、特にクラウドネイティブな環境やマイクロサービスアーキテクチャに最適化されている

近年、クラウドを前提としたサービスの普及やそのセキュリティリスクの増大に伴い、認証と認可の重要性が増えています。本書籍では、Keycloak における認証と認可の仕組みから、API 認可やシングルサインオンの実現および認証の強化といった、実際のユースケースに沿った実装を紹介しています。今回の第 2 版では、Keycloak のアーキテクチャ変更に伴い Quarkus に準拠した構築方法のほか、Keycloak の可用性確保に向けて重要性が増したセッションの解説を厚くしました。

<対象読者>

- クラウドエンジニアとして、認証と認可についてしっかり学びたい方
- CNCF のプロジェクトである Keycloak について知りたい方


日立は、高度な認証・認可や API 管理などを実現する Keycloak ソリューション^{*3}として、上流工程のコンサルティングから、基盤の構築・運用までトータルで支援しています。今後も、クラウドネイティブなアプリケーションにおいて、セキュリティを考慮した開発・運用を実現する DevSecOps のサイクルをプラットフォームエンジニアリングで支援していきます。また、CNCF のメンバーとして、国内への普及活動に加え、グローバルでも幅広い OSS 団体と連携し、OSS の普及・拡大やコミュニティの活性化に貢献していきます。

*3 <https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/efforts/keycloak/?ni=250403>

書籍情報

- 書名：認証と認可 Keycloak 入門 第2版
-OAuth/OpenID Connect に準拠した API 認可とシングルサインオンの実現-
- 著者：中村 雄一、和田 広之、田村 広平、田畑 義之、青柳 隆、奥浦 航
- 発行：株式会社リックテレコム
- 価格：4,840 円(税込)
- 刊行日：2025 年 4 月 8 日(予約受付中)
- 商品ページ：<https://www.ric.co.jp/book/new-publication/detail/2925>(リックテレコム)

執筆者について

名前	役割と略歴(発表時点)
中村 雄一 	株式会社日立製作所 Hitachi OSPO, Head of OSPO チーフ OSS ストラテジスト、博士(工学) 2001 年より、OSS セキュリティの研究開発に携って以降、特に国内での SELinux (Security-Enhanced Linux) の普及活動をリードし、多数のコードをコミュニティに提供することで貢献。また国内外を含め、多数の講演・執筆活動を行ってきた。こうした活動が認められ、OSS セキュリティのコミュニティメンバーと共に、2015 年に情報処理学会より「喜安記念業績賞」を受賞。近年は、The Linux Foundation のボードメンバーとして、国内コミュニティと CNCF などの関連団体との橋渡しに注力しており、Cloud Native Community Japan の設立に参画。2024 年に Linux Foundation Japan の初代エバンジェリストに選出され、Hitachi OSPO を設立し、初代 Head of OSPO に就任。2025 年に CNCF の Governing Board に就任。
田畑 義之	株式会社日立製作所 Hitachi OSPO シニア OSS コンサルタント 認証・認可のエキスパートとして、金融、公共、社会、産業の重要なシステムにおいて API 管理



やシングルサインオンについての技術コンサルテーションに数多く携わり、その知見を講演や執筆活動などで発信。また、コンサルテーションで得たニーズをもとに Keycloak の開発にも参画し、コミュニティに貢献。2023 年 11 月 CNCF アンバサダーに就任。2024 年 Cloud Native Security Japan 立ち上げに参画し、オーガナイザーとして活動。

[LINE ヤフーと日立に学ぶ プロジェクト横断で「アジリティ向上」を成功させる秘けつとは：「プラットフォームエンジニアリング」が不可欠な理由 - ITmedia エンタープライズ](#)

日立の OSS の取り組み

- ・日立 OSPO ホームページ
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/ospo/?ni=250403>
- ・日立クラウド Cloud Native Computing Foundation(CNCF)の活動
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/cncf/?ni=250403>
- ・OSS 日立の取り組み：Keycloak とは？
<https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/efforts/keycloak/?ni=250403>

商標注記

- ・記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 AI & ソフトウェアサービスビジネスユニット
お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上